

参加者募集
定員400人
入場無料

和歌山県 広川町 日本遺産認定記念シンポジウム

濱口梧陵生誕200年イベント



濱口梧陵を生んだ 紀州広川の挑戦

日時 防災の日
9月1日(日)
開場 13時～
開演 13時30分～
終演 16時10分予定

会場 エルセラーンホール 大阪市北区 堂島1-5-25
JR「大阪駅」「北新地駅」、大阪メトロ「梅田駅」「東梅田駅」「西梅田駅」、
阪急「梅田駅」、阪神「梅田駅」、京阪「渡辺橋」各駅より徒歩約5分～約10分



西岡 利記
(広川町長)



黒田 尚嗣さん
(クラブツーリズム・テーマ旅行部顧問)



永瀬 節治さん
(和歌山大学観光学部 准教授)



旭堂 南陵さん
(講師、大阪芸術大学客員教授)



平井 理央さん
(フリーアナウンサー)



荒俣 宏さん
(作家・博物学者)

プログラム

トークショー
紀州が生んだ偉人 濱口梧陵
荒俣 宏さん(作家 博物学者)
平井 理央さん(フリーアナウンサー)

講演
演目「稲むらの火」
旭堂 南陵さん(講師、大阪芸術大学客員教授)

パネルディスカッション
「日本遺産を活かした 観光とまちづくり」
コーディネーター
永瀬 節治さん(和歌山大学観光学部 准教授)

パネリスト
荒俣 宏さん
黒田 尚嗣さん(クラブツーリズムテーマ旅行部顧問)
西岡 利記(広川町長)

日本遺産に認定された「百世の安堵」津波と復興の記憶が生きる広川の防災遺産(和歌山県広川町)のストーリーは安政元年11月5日の「稲むらの火」の物語から始まります。そして、そのストーリーを構成するのは「稲むらの火」を踏まえて、町の人々が残したさまざまな文化遺産です。津波被害に遭いながらも海と向き合い、海との共存を選んだ広川町には、復興を成し遂げた濱口梧陵の教えが根底に流れています。本シンポジウムでは、各分野のプロをお迎えし、濱口梧陵翁の偉業を顕彰しながら、その人柄に触れ、日本遺産とともに広川町の観光資源の魅力伝え、濱口梧陵の生誕200年にあたる2020年を見据えて、未来の観光とまちづくりを考えます。



応募方法

①〒住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤参加人数(1通の申し込みで2名まで。2名で参加希望の場合は同伴者名)を明記して、ハガキ、メール、ファクスでご応募ください。

ハガキ 〒556-8662(住所不要)
産経新聞社メディア営業局「広川町シンポジウム」係

メール o-kikaku@sankei.co.jp
※件名に「広川町シンポジウム」と明記。

ファクス 06-6633-9590
※件名に「広川町シンポジウム」と明記。
※応募者の個人情報は招待状の発送と事務局からの連絡のみに使用致します。

締め切り
8月19日(月)必着
※応募者多数の場合、抽選のうえ当選者に招待状をお送りします。

お問い合わせ(平日10時～17時)
Tel.06-6633-9526



参加者にもれなく
ヤマサ醤油「本醸造醤油 セット」プレゼント!

◆主催/広川町 ◆共催/広川町日本遺産推進協議会、広川町教育委員会
◆後援/ヤマサ醤油株式会社、東濱植林株式会社、一般社団法人全国旅行業協会、和歌山県教育委員会、和歌山県、産経新聞社